

第182回拡大地方委員会②

2月26日（土）10時半～ 県教育会館

国労

蘇我運輸区分会ニュース



討論（質疑・応答）

経過・活動方針案に対する討論は発言順に次の通り。分会名とカッコ内は職場名。

- ① 佐倉（日向駅）
 - ② 幕張電車区（同車技）
 - ③ 蘇我運輸区（同車掌）
 - ④ 新小岩保線（西保）
 - ⑤ 千葉運輸区（同車掌）
 - ⑥ 千葉機関区（京臨）
 - ⑦ 千葉建築（同技セ）
- 以上。

駅職場から

代表選挙は、2つの駅分会が合同で選対を取り組んだ。ライングループで情報の共有化を図り、組合全体で動いていることを実感した。

トイレの封鎖等の問題点を、選挙を通じて色々な職場の人と話が出来たことは良かった。

当分会から

代表選挙は、他労組と選挙対策交流を持ちながら取り組んだ。若い人たちの無関心さが目立ち、思うような結果に結びつかなかったのが残念。

ダイ改後の特急の問題（回数券、定期の廃止、指定席の拡大）は、利用者の苦情が多く、会社側の回答では到底納得出来ない。利用者が、車掌

の合理化を分かっている。ダイ改後も会社の思惑通りにはいかない。利用者無視の施策に対して現場から声を出し続けていく。

他運輸区職場から

春闘に関して、代表選挙に絡めて若い人たちと話し合った。今の20代、30代は「現状を変えよう」というより「この現状をどうやって乗り越えるか」を重要視している。これが社会全体の教育、思想的なものではないか。

現場で組合の説明会の開催を他労組に提案した。鉄道のある方に大きな動きが出ている。今こそ政治の問題として重要視していかなければならない。参院選挙を通じて、公共交通のとしての使命を守っていくことが大事。

その他

代表選挙の立候補届けをしたら「定年なのに出るの」と言われた。ポスターを作り、貼れたのは良い経験になった。春闘は退職金にも響いてくる問題。地球の向こう側では戦争が始まっていることから、春闘集会のデモ行進で平和を訴えるアピールを復

活させたい。参院選では憲法を守る闘いを。毎年、新入社員と語る会を開催し、組合と社友会の違い等々の説明を行なっている。エルダーになって入ってくる組合員が多く、以前の分会から離れたくない人も多い・等々。

書記長集約

労働組合は平和と民主主義を守る団体であることを改めて認識させられた。代表選挙は通年闘争として考え、日頃の活動が結果につながるようにしよう。労働条件、安全安定輸送を守る闘い、国労だけでは困難。共闘関係を広げていく。色々な職場の声を聞かせてほしい。

現場社員の声に耳を傾けてくれる
皆さんの信任の力を！



☆ 全ての議事が終了し、最後加藤委員長の団結ガンパローで無事閉会しました。お疲れさまでした。